

令和6年度 板橋区立三園小学校 学校経営計画

日本国憲法・関係法令	文部科学省 中央教育審議会寄申 東京都教育委員会 教育目標及び基本方針	保護者・地域の願い・児童の実態・学校・地域の実態
------------	--	--------------------------

「板橋区基本構想」10年後のあるべき姿 「板橋区教育大綱」 “学びまち” 教育の板橋 実現に向けて 「板橋区教育ビジョン2025」 (平成28年3月) 「めざす将来像」 “いきいき子ども! あたか家族! はつらつ先生!” 地域を支える教育の板橋 “学び合う、学び続ける人づくり!” 地域を創る教育の板橋 「未来を担う人に必要とされる資質・能力」 主体的に課題を発見し、解決に導く力・協働して課題解決に取り組む力・失敗を恐れずチャレンジする力

「次世代の学校づくり」 自立・貢献・共生・創造 Society5.0 (ビジョン) ①文章や情報を正確に読み解き対話する力 ②科学的に思考・吟味し活用する力 ③価値を見付け生み出す感性と力、好奇心・探究心		
SDGs (コンテンツとして) 持続可能な社会の創り手の育成	STEAM (メソッドとして) 実社会の問題発見・解決に生かす	GIGA (ツールとして) 個別最適な学びと協働的な学びの実現

『いたばし学び支援プラン2025』(2022~2025) ◎3つの方向性 これからの社会を生き抜く力の育成 子どもの学びを保障する教育環境の確保 地域と共に学び合う教育の推進			
◎9つの重点施策			
確かな学力の定着・向上	誰もが希望する質の高い教育を受けられる環境の整備	地域による学び支援活動の促進	
豊かな人間性の育成	保幼小中のつながりがある教育の実現	生涯教育社会へ向けた取組の充実	
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした教育の推進	安心・安全な教育の推進と学校環境の整備	家庭における教育力向上への支援	
◎3つの視点			
G I G A スクール構想	ESD	学びの循環	
◎4つの柱			
板橋区コミュニティ・スクールの推進	保幼小接続・小中一貫教育の推進	学校における働き方改革	誰一人取り残さないための居場所づくり
みんなの学校 一地域とともにある学校・子ども、我が子 ○不可欠な3機能 熟議(当事者意識)・協働(参画意識) ・マネジメント ☆ 教員参加	つながりのある義務教育 一中小9年間、誰1人取り残さない (不登校ゼロ 学力向上!) ○「みどりの学びのエリア」 目指す子ども像・具体的な取組を共有し徹底する ○区授業スタンダード・iカリキュラム 読み解く力	働き甲斐改革 一教師の専門性を磨く! 学び変え続ける ○教師の長時間労働の是正 一持続可能な職場環境づくり	生涯 世代を超えた地域の人々 つながりかかわり合うため

☆豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる児童の育成

スローガン
「生き生き 学びの三園小」

三園小学校 学校教育目標 よく考える子・思いやりのある子・たくましい子・ねばり強い子 ※「知」「徳」「体」「情」の調和のとれた人(子供)を育てる。 →児童の将来・夢の実現のための土台づくり ※ 全ての教育活動は 教育目標の実現のためにある。
--

◎挨拶と笑顔あふれる学校 ○安心・安全な学校 ○信頼され地域と共にある学校 → ☆「生き生き 学びの三園小」
◎自ら学ぶ子 ○心身ともに健康で、思いやりのある子 ○規範意識を身に付け自立した子 ○夢や希望をもち、努力する子 → ☆「いじめ・不登校ゼロ!」
◎切実な課題、質の高い教育を求めてやまない教職員 ○自覚をもち、全力で職務に取り組む教職員 ○明るく元気で誰とも協働できる教職員 → ☆「服務事故ゼロ!」

(知) よく考える子 重点目標	(徳) 思いやりのある子	(体) たくましい子	(情) ねばり強い子
・自ら学ぶ目標をもち、知識・技能を活用し、 筋道を立てて考え、自ら判断し行動できる子 ・豊かな創造力と表現力を身に付け、 協力して課題を解決できる子	・自然を愛し、美しいものや崇高なものに感動する心と 自他の生命を尊重し、人を思いやる心の豊かな子	・自己の人生や社会を切り拓き、明るくたくましく 自己実現に努力する心身ともに健康な子	・基本的な生活習慣を身に付け、自らの意志で社会の規範を 守る自製の心をもち、最後まで努力する子
「よく考える子」を育てるために	「思いやりのある子」を育てるために	「たくましい子」を育てるために	「ねばり強い子」を育てるために

<p>◎「3つの資質・能力」の育成</p> <p>☆思考力・判断力・表現力 ☆知識・技能 ☆学びに向かう力・人間性</p> <p>◎最重要課題: 学力向上 → 【国・都学力調査結果分析】→☆授業革新</p> <p>◎授業で勝負! 「分かった、できた、楽しい」授業</p> <p>→「主体的・対話的で深い学び」「個別最適な学びと協働的な学び」を実現</p> <p>×教師が学ばせる(教師中心) → ○子どもが自ら学ぶ(子供中心)へ</p> <p>・「めいひとみまふ」(授業スタンダード)の徹底し、ICTの効果的な活用により、児童の主体的学習を推進し、読み解く力・学びに向かう力を育成する。</p> <p>【授業スタンダードの徹底】【ICT機器・思考ツールの効果的な活用】【読み解く力】 【input think output】【かえる3兄弟】【指導(支援)】→評価【授業にあって記録】 【教員の役割】【特別支援の視点: U D】</p> <p>・ノート「書く」指導・クロームブック指導を徹底する。【学びの足跡・習得と活用】</p> <p>・授業におけるマナー・ルールを徹底する。【学習準備・聞き方・話し方等】</p> <p>・集団で学習することの価値を高める。</p> <p>【交流: かかり合い・学び合い・高め合い】【H-Q活用・アンケート】</p> <p>◎基礎・基本の徹底</p> <p>・校内研究の充実を図る。【読み解く力】 → 一学力向上・「RST」「MIM」</p> <p>・フィードバック学習を全校で実施する。復習・補習 【クロームブックの活用】 【ベシッドドリル】【個別指導】【フィードバック30: 2年生以上】【TOFAS】</p> <p>・習熟度別学習を実施する。(算数 3年以上)【少人数指導】</p> <p>【SDGs (ESD)・STEAM教育】【環境教育】【キャリア・アントレプレナーシップ教育】 【プログラミング教育】</p> <p>・特別支援教育の充実を図る。【校内委員会 月1回】【特別支援教室 → 教室】</p> <p>・読書活動を充実させる。【読書一読みかせ・リスト】</p> <p>・家庭学習の習慣化を図る。(毎日 1年20分・2-6年学年×10分)</p> <p>【毎日家庭学習課題】【自主学習】【家庭学習の手引き】</p>	<p>◎安全・安心な居場所づくり</p> <p>◎人を大切に 挨拶・ルール → (凡事徹底)</p> <p>◎自分を大切に 自尊感情・自己肯定感の醸成</p> <p>→ ○いじめゼロ・不登校ゼロ → 一 体罰ゼロ</p> <p>→ 郷土「板橋」を愛する心の育成 安全・安心な居場所</p> <p>→ 生命の教育</p> <p>◎【三園つ子スタンダード】共通指導</p> <p>→ みどりの学びのエリア重点事項 徹底!</p> <p>・集団生活のルールの必要性を理解させ、規範意識を育て、全ての児童が気持ちよく学校生活を送ることができる環境を作る。→ルールの見直し</p> <p>・学級会活動 話し合い活動の充実を図る。【1月学級活動の日】</p> <p>・道徳教育の充実を図る。</p> <p>「思いやり」【特別の教科 道徳】考え、議論する道徳へ 【道徳授業地区公開講座 地域・保護者への啓発】</p> <p>・人権教育の充実を図る。</p> <p>【人権: 自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること】 【人権感覚・意識 教員 児童】【人権を視点とした授業】 【いじめの早期発見・早期対応】</p> <p>・特別活動、学年(学級) 経営の充実 目標を明確に! 【行事・集会・委員会・クラブ活動 縦割り班活動】</p> <p>・様々な立場の人とふれあう機会をつくり、共に学ぶ。 【学びのエリア: 小中一貫教育の取組】</p> <p>【近隣 幼・保との交流、連携】【地域の施設との交流・外部授業】</p> <p>・自然環境への関心を深め、自然の営みに畏敬の念をもてるようにする。 【ビオトープ活用 自然体験 生命尊重 花壇等の栽培】</p>	<p>◎体力向上</p> <p>・継続的に運動する機会を設定する。</p> <p>・体育科授業の工夫 【案間活用: 学期1】【外遊び奨励】</p> <p>・体力調査の活用 → 体育科授業の充実</p> <p>【体力調査結果分析一向上計画】</p> <p>・健康教育、保健指導、食育を充実させる。 【学校保健委員会】【アレルギー対応】 【カルシウム一残菜ゼロ】【癌・認知症】 【安全教育を充実させる】 【生活・交通・災害】 【自分の身は自分で守る】 【安全学習・安全指導】計画的実施</p> <p>・精神的なたくましさも合わせて育成する。 【切実な課題・失敗から学ぶ】機会 【チャレンジ精神】</p> <p>・オリ・パラ教育(レガシー)を推進する。 【学習】【集会】【ノート活用】</p>	<p>◎チャレンジ精神</p> <p>全ての活動で ・目標をもたせ、達成感や成就感を体験させる。 【集団と個の目標 一振り返りと評価・改善】 【話し合い活動】 【校外の活動 表彰】 【許容的な集団(互いのよさを認め合う)をつくる。】 【望ましい人間関係】 【特別支援の視点】 一継続して取り組める活動を工夫する。 【継続は力・習慣化】 【レベルアップ】 【総合的な学習の時間】 探究 → 行動</p>
--	---	---	--

<p>◎働き方改革について</p> <p>A 残業時間が月60時間を超える教員をゼロにする。目標達成時間は19時30分(休業中は定時退勤) ※最終: 21時</p> <p>B 2日連続で土日の出勤率 0%を目指す。 ※出勤時は事前連絡・在校時間を加算!</p> <p>C 年次有給休暇の取得率 75%以上(100%達成) 15日 / 20日(繰り越し分は含まず)</p> <p>校内の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 限られた時間(AとB)の中で、計画的に効率よく仕事を進める。(時間を意識した働き方) 休めるときにはしっかりと休む。(C 年次有給休暇取得) 時数は確保。教育計画は常に見直ししよう。(アイデアを1) 確認 休みの日の電話、忘れ物、平日18:30以降も 原則対応しない。 取組 週一回水曜は定時退勤日設定 ・働き方改革の取組・見直しを推進 ・休憩時間の確保(15:45~16:30) 	<p>◎板橋コミュニティ・スクール(ICS)5年目!</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度~ C5委員会(10名)年間5回 ※教職員も参加(目標: 1回は参加) ※人材リスト作成 ◎小中一貫教育 みどりの学びのエリアの取組について、主体的に取り組む。※別紙参照 令和6年度 学びのエリア研修会 第3回は三園小 ◎居場所 前向き教室に変更 ◎4つの柱(いたばし学び支援プラン2025)については、教職員一人一人がその必要性を理解し、組織的に取り組んでいる。キーワードは「つなぐ つなげる つながる」 ◎GIGAタブレット活用一充実: 有効な活用
---	---